

体制を検討し、災害医療マニュアルに反映させます。

イ EMISの操作に関する研修及び訓練の実施

EMISは、災害時の医療機関の情報を収集し共有できるシステムであり、有効に活用するためには医療機関の関係者、行政関係者等がこの情報システムについて理解する必要があることから、EMISの入力に関する研修を実施します。

また、県内病院、有床診療所及び離島診療所(久米島、宮古島、石垣島を除く)を対象にEMIS入力訓練を実施するとともに、各医療機関においてもEMISの操作を含む研修及び訓練を実施するよう促します。

(6) 災害時における搬送体制の構築

ア 航空医療搬送体制の確保

SCUの設置場所の指定及び設備整備を行うとともに、航空搬送を想定した訓練を実施することで、航空搬送体制を構築します。

イ 人工透析、在宅酸素、人工呼吸器、周産期患者の県外搬送計画の検討

災害が発生し、県内の水及び電気等のインフラが停止し、県内では治療を継続できなくなった場合に備えて、人工透析、在宅酸素、人工呼吸器、周産期患者の県外搬送計画を検討し、患者に対して周知を図ります。

ウ 個別シナリオの検討

各種訓練の内容を検証し、被害想定ごとの災害医療の個別シナリオの検討を行います。

第3 数値目標

1 目指す姿

災害時に適切な、医療を提供できる。

指 標	現 状	目 標 (R11)	目標値の 考え方	データ 出典	取組の 主体
中間アウトカム達成率	R4 46.5%	100%	中間アウトカム全ての達成	—	—

2 取り組む施策

(1) 災害時の組織・体制

指 標	現 状	目 標 (R11)	目標値の 考え方	データ 出典	取組の 主体
沖縄県災害医療マニュアル	R4	1回	マニュアル	県医療	県

検討会議の開催	0回		改正に必要な回数	政策課	
3日以上業務を継続できる災害拠点病院の割合	R4 84.6%	100%	全災害拠点病院	県医療政策課	県災害拠点病院
医療機関における業務継続計画の策定率	R4 44.9%	70%	全病院	県医療政策課	県全病院
災害拠点病院の敷地内ヘリポート数	R4 4箇所	11箇所	災害拠点病院	県医療政策課	県災害拠点病院

(2) 災害時における関係機関との協力・連携

指 標	現状	目標 (R11)	目標値の考え方	データ出典	取組の主体
DMAT、DPAT等の医療チーム数及び構成する医療従事者数	R4 DMAT 26チーム 209人 DPAT 18チーム 176人	DMAT 26チーム以上 209人以上 DPAT 18チーム 185人	令和5年度実績ベースの現状以上とする。	県医療政策課 県地域保健課	県 DMAT DPAT
当該年度のDMAT登録要件満了者における、DMAT登録の更新率	R4 75%	80%	令和4年度実績ベースの現状以上とする。	県医療政策課	県 DMAT
災害医療コーディネーターの委嘱数	R5 24人	36人	36人＝2名×3シフト×6箇所(本部、各保健所)	県医療政策課	県
災害時小児周産期リエゾンの委嘱数	R4 0人	16人	総合・地域母子医療センター数(県内8箇所)から、小児科医・産科医を1名ずつ任用	県地域保健課	県

災害支援ナースの登録者数	—	30人/年		県保健医療総務課	県
--------------	---	-------	--	----------	---

(3) 災害時に備えた訓練の実施

指 標	現状	目標 (R11)	目標値の考え方	データ出典	取組の主体
2以上の訓練へ参加した医療機関数	R4 15病院	16病院	全災害拠点病院及び全DMAT指定医療機関	県医療政策課	県医療機関
沖縄県災害医療本部設置運営訓練の実施回数及び、振り返り会議の実施回数	R4 訓練2回 会議0回	訓練2回 会議0回	訓練回数の維持 訓練回数と同数	県医療政策課	県
航空搬送を想定した訓練の実施回数	R4 1回	1回	年1回の実施	県医療政策課	県
災害時の医療チーム等の受け入れを想定した訓練の実施回数	R4 0回	2回	美ら島レスキューと県総合防災訓練	県医療政策課	県
災害訓練を実施した災害拠点病院の割合	R3 76.9%	100%		県医療政策課	

(4) 災害時に活用する設備・資機材・薬剤の整備

指 標	現状	目標 (R11)	目標値の考え方	データ出典	取組の主体
災害拠点病院設備整備事業実施件数	R4 7	8	民間の災害拠点病院	県医療政策課	県災害拠点病院
NBC 災害・テロ対策設備整備実施件数	R4 4	13	災害拠点病院数	県医療政策課	県災害拠点病院
BC災害の受入体制と資機材・医薬品の整備状況に関する調査実施件数	—	1	年1回実施	県医療政策課	県消防

(5) 災害時における通信体制の構築

指 標	現状	目標 (R11)	目標値の考え方	データ出典	取組の主体
EMIS 入力訓練時の病院の入力率	R4 79%	100%	全病院が入力	県医療政策課	県全病院
EMISに登録している診療	R4		有床診療所	県医療	県

所数	67	87	及び離島 診療所	政策課	診療所
通信回線以外の通信手段 の数	R4 1	2	行政機関以 外と通信で きる手段を 確保する	県医療 政策課	県
EMIS 操作を含む研修・訓 練を実施している災害拠点 病院の割合	R4 100%	100%	研修・訓練 の継続	都道府県 調査	災害拠点 病院
EMIS登録機関を対象とし た、EMISの登録・活用に関 する研修会の実施	—	1	年1回の実 施	県医療政 策課	県

(6) 災害時における搬送体制の構築

指 標	現状	目標 (R11)	目標値の 考え方	データ 出典	取組の 主体
搬送計画の策定	R4 0	6	年に1つ策定	県医療 政策課	県
SCU 設置予定場所の指定数	R4 0	6	那覇空港と各医療圏毎 に1か所ずつ	県医療 政策課	県
航空搬送拠点臨時医療施設 設備整備事業の実施件数	R4 1	1	都道府県による実施	県医療 政策課	県
被害想定ごとの災害医療の個 別シナリオ数	R4 0	4	人口透析、在宅酸素、 人工呼吸器、周産期 患者	県医療 政策課	県